

沖縄スポーツ・ヘルスケア産業 クラスター推進協議会



【経産部】

NO.8

2019沖縄健康サミット～沖縄の「健康経営」を考える～を開催しました

基調講演では経済産業省ヘルスケア産業課・西川課長とNPO法人健康経営研究会・



経済産業省ヘルスケア産業課 西川和見課長の講演

平成31年1月21日、当局及び沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会が主催する「2019沖縄健康サミット」が、那覇第2地方合同庁舎1号館で開催されました。今回の「沖縄健康サミット」では、経営戦略の視点から従業員と家族の健康増進や職場環境の改善を図ることで、個人・組織の生産性や企業価値の向上に繋げる「健康経営」をテーマに、国の施策や方向性を紹介するとともに、県内外での実施事例を踏まえ、沖縄における「健康経営」にどのような向き合い、取り組むのか、さらには沖縄の健康長寿実現のためにどう行動すべきなのか、参加者の皆様とともに議論しました。

パネルディスカッションでは、沖縄スポーツ・ヘルスケア

基調講演では経済産業省ヘルスケア産業課・西川課長とNPO法人健康経営研究会・

岡田理事長をお迎えしご講演いただきました。西川課長には、「健康経営とヘルスケア産業の方向性について」と題し、日本における高齢化の進展や生涯現役社会に向けた方向性、「健康経営」の広がりについてご講演いただきました。



NPO法人健康経営研究会 岡田邦夫理事長の講演

した。岡田理事長には、「これならできる健康経営」と題し、なぜ、今、健康経営なのかについて、少子高齢化による人手不足や労働者の健康問題・労働災害など企業が抱える課題に触れながら、経営者の決断の重要性についてご講演いただきました。「健康経営の取組は、企業が抱える将来的なリスクの回避にも繋がるので、できることから実践して欲しい」との講師のメッセージにに対し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



パネルディスカッションの様子

ア産業クラスター運営会議委員でもある高崎尚樹氏(株式会社ルネサンス取締役専務執行役員)をモデレータに迎え、沖縄労働局、株式会社琉球銀行、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄トランスオーシャン航空株式会社のパネラーの皆様から「健康経営」の実践事例をご紹介いただきました。また、参加者との質疑応答では、沖縄県内の行政機関や企業が自ら取組む具体的な方法について活発な意見交換がありました。

経済産業部企画振興課 担当：大城、仲西、波照間

内閣府沖縄総合事務局では、沖縄における「健康経営」の普及・啓発、スポーツ・ヘルスケアを基軸とした新事業の創出、産業振興に引き続き取り組んでいきます。

「健康経営」の実践事例をご紹介いただきました。また、参加者との質疑応答では、沖縄県内の行政機関や企業が自ら取組む具体的な方法について活発な意見交換がありました。

沖縄健康サミットの併設イベントとして開催された「スポクラMeetUP!」では、「健康経営」にもつながる「スポーツ×ヘルスケア」をテーマにビジネス展開している企業などの皆様からのPR、名刺交換会を実施しました。当イベントには13機関がPR発表し、今後の事業展開や新たな連携・融合について交流を深めました。



企業ブースで健康管理の最新技術を体験